

環境事業



環境事業

経済活動と環境保全の両立という
困難な課題に挑み、豊かで
安心・安全な暮らしを次世代につなげます。

取締役／環境事業担当
瀧本 裕二



様々な社会課題の解決を通じて、次世代の豊かな生活の実現に貢献。
成長とのバランスを考慮しながら、環境保全への取り組みにも注力します。

再生可能エネルギー事業では、カーボンニュートラルが求められる中、市場ニーズが売電事業から自家消費へと変化してきています。これに対応するためには新たなスキルが求められるため、2023年9月期はその体制の整備を行いました。排水浄化処理／水循環事業では、既存設備で使用する薬剤の拡販を進めるとともに、プラント施工の分野に参入しました。

今後の取り組みについては、再生可能エネルギー事業では、FITが開始されて10年が経過し、顕在化していない不具合や、機器の故障率が増加している発電所が増えている現状を踏まえ、劣化度合いの診断を通じ、メンテ

ナンスや機器交換の需要を創出してまいります。また、工場屋根上への太陽電池の設置が増加していることに対応し、最適な設計や機器選定を通じてお客様のCO₂削減や省エネに貢献します。排水浄化処理／水循環事業では、プラント施工への参入に伴い、設計・施工管理を行う人材の強化を図るほか、アクアリウム関連では、水族館向けユニット水槽を通じて資源循環や生態系の学びの場を提供することで、将来の環境を考える場を提供したいと考えています。

3C分析

Customer
顧客

排水浄化処理／水循環事業：
水質向上に対するニーズがある食品工場や畜産場など様々な業種
再生可能エネルギー事業：
社会的に再生可能エネルギーへの関心が高く、ニーズは増加傾向

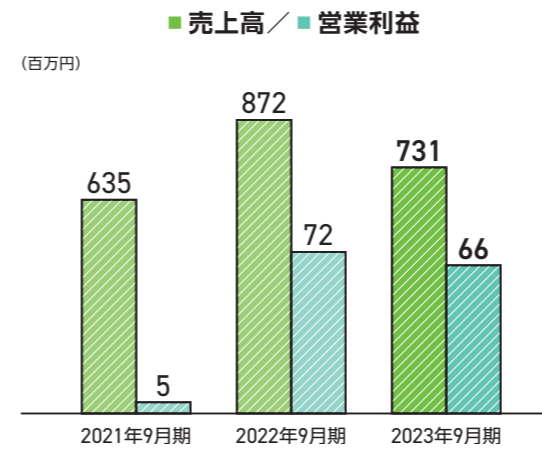
Competitor
競合

排水浄化処理／水循環事業：
水処理製剤を販売する化学薬品メーカーや水処理プラント企業が競合
再生可能エネルギー事業：
参入企業が相次いだ時期に比べると淘汰が進み、競合は減少傾向

Company
自社

排水浄化処理／水循環事業：
特許を取得している独自製品を開発。顧客の課題に対して長期試験で効果を確認することで信頼を獲得
再生可能エネルギー事業：
太陽光発電設置専門業者の淘汰が激しく、多角経営だからこそ可能な、10年以上にわたり太陽光発電設置や維持に対する体制を整えている点が強み

2023年9月期の事業概況



社会的な環境問題への関心の高まりを受け、再生可能エネルギーや排水浄化製剤に対するニーズが高まっています。水循環システム・アクアリウムに関する事業では、アクアリウム受注案件が前期好調の反動もあり2023年9月期は前期比で減少していますが、産業用太陽光案件については前期比で施工金額が増加しています。

また、世界的な課題である原油スラッジ処理に有用となる、画期的な処理剤・処理方法・処理剤キットに関する特許を、2023年9月期に登録するなど、持続可能な社会の構築に向けて活動を進めました。

成長戦略

注力分野として産業用太陽光発電設備に注力しており、リソースを確保することで体制を整え、今後はさらなる受注増を目指します。もう一つの注力分野であるアクアリウム(水族館)等については、2023年9月期は反動減となりましたが、受注案件が回復する見込みであり、こちらも着実な受注増を目指します。

中期経営計画における環境事業のポジショニング

- ▶ 太陽光発電設備では、リソースを確保し、成長に注力
- ▶ アクアリウム等では、業容を拡大して効率的に案件を獲得

注力分野

産業用
太陽光発電設備

注力分野

アクアリウム
(水族館)等

TOPICS

事業間シナジーを活かしたプラント案件の受注

環境事業、公共サービス事業の事業間シナジーにより強みを発揮します。

環境事業における薬剤の製造販売、公共サービス事業におけるファシリティおよび当社グループ間での人材交流をベースに、電子部品材料の製造工場向け大型排水処理プラントの設計・施工等を受注しました。各事業部と連携した結果であり、今後も事業間のシナジーを発揮することにより、大型案件の受注を目指します。

一気通貫の案件受注を実現

- 1 プラント設計コンサル・エンジニアリング
- 2 排水処理薬剤の供給
- 3 総合メンテナンスサービス企業へ



当社環境事業のノウハウ
プラント設計コンサル・エンジニアリング
BOD・COD値の安定処理
※1 ※2

※1 酸化・分解作用のために水1リットルあたり何mgの酸素が必要か表した値
※2 酸化剤を加えて水中の有機物と反応させたときに消費する酸化剤の量に対応する酸素量を濃度で表した値